



令和4年度デジタル活用支援推進事業の総括

2023年5月17日

総務省 情報流通行政局 情報流通振興課

高齢者等に向けたデジタル活用支援の一層の推進

- 高齢者等のデジタル活用の不安解消に向けて、オンラインによる行政手続等のスマートフォンの利用方法に対する説明・相談等の支援を行う「講習会」を令和3年度から全国の携帯ショップ等で実施
- 令和4年度以降は、携帯ショップがない市町村（749市町村（※令和4年6月20日集計））を念頭に講師派遣を実施予定。

【予算】デジタル活用支援推進事業 令和3年度補正予算3.3億円、令和4年度当初予算16.7億円

携帯ショップのスマホ教室等



デジタル格差解消を図るため、高齢者等の身近な場所で、行政手続きや利用ニーズの高い民間サービスの利用方法の助言や相談などを実施

（説明・相談の例）

- ・マイナポータルの使い方
- ・オンラインによる診療や予約
- ・e-Taxの利用方法 等

講師派遣

派遣講師候補者の募集・研修



マッチング

派遣先候補の募集



派遣先

講師派遣の実施
（令和4年度～）



■ 携帯キャリア等（都市部等）

- 身近なところに携帯ショップがある都市部を中心に、全国に拠点を有する**全国展開型**の団体が講習会を実施

■ 地域に根差した支援（地方）

- 地方公共団体と連携して、公民館等の公共的な場所で**地域連携型**の団体が講習会を実施
- 講習会等でカバーできない地域において、高度なスキルを有する**講師を派遣**して支援

携帯キャリア等（都市部等）

令和3年度～
講習会(全国展開型)



講習会等を行う拠点を全国に有しており、当該拠点で支援を実施する主体（携帯ショップを想定）

地域に根差した支援（地方）

令和3年度～
講習会(地域連携型)



地方公共団体と連携して、公民館等の公共的な場所で支援を実施する主体（地元ICT企業、社会福祉協議会等）

令和4年度～

デジタル活用支援推進事業講師の派遣



地域の担い手となる、高度なスキルを有するデジタル活用支援推進事業の講師を育成し、携帯ショップがない市町村などを念頭に講師を派遣して支援を実施

令和3年度：約2,000箇所^{※1} ➡ 令和4年度：3,000箇所へ拡大^{※2}

(※1) 令和3年度実績

(※2) 令和4年度予算ベースに基づく試算

- 執行団体を通じ、補助金を交付する事業実施団体（間接補助事業者）を公募。
- 執行団体における公募締切後、執行団体の下に設置された外部有識者からなる評価会において、申請に対する評価を実施し、同評価の結果を踏まえて、執行団体から事業実施団体に対して交付決定。
(全国展開型) 令和4年4月15日～4月28日にかけて公募、5月20日に採択決定
(地域連携型) 令和4年4月15日～5月13日にかけて公募、7月19日および8月10日採択決定
- 講師派遣については、派遣先と派遣講師の選定後、講習会開催にかかるマッチングを開始。
(派遣先) ①令和4年7月19日～8月21日にかけて公募、9月6日に選定完了
②令和4年9月9日～12月18日にかけて公募、12月23日に選定完了
(派遣講師) ①令和4年7月19日～8月14日にかけて公募、9月6日に選定完了
②令和4年9月9日～12月18日にかけて公募、12月23日に選定完了

<実施スキーム>



※講師派遣についても、執行団体から派遣

令和4年度の事業実績(確定)

- 全国4,804箇所において、延べ約43万コマの講習会等を実施
- 受講者数は、65万人程度

項目	全国展開型	地域連携型	講師派遣	合計
採択数	採択事業者：4者 採択数：4件	採択事業者：125者 採択数：328件 (うち2者・2件が辞退、 1者・1件が交付決定取消)	派遣先：48団体 派遣講師：5365人	-
箇所数	<u>4,454箇所</u> (うち27箇所は、閉鎖拠点 の実績引継ぎあり)	<u>326箇所</u> (連携自治体の数)	<u>24箇所</u> (実績のある派遣先数)	<u>4,804箇所</u>
講習会等の 実施コマ数	<u>417,598コマ</u>	<u>11,809コマ</u>	<u>246コマ</u> (3コマ/回で固定につき、回 数だと82回)	<u>429,653コマ</u>
講師人数 (研修を履修した 延べ人数)	<u>17,873人</u>	<u>1,583人</u>	<u>3,965人</u> (うち未経験者100人、経験 者3,865人)	<u>23,421人</u> (重複を考慮しない延べ人 数)
受講者数 (延べ人数)	<u>578,347人</u>	<u>70,771人</u>	<u>1,609人</u>	<u>650,727人</u>

※事業実施期間はR4.5月～R5.2月末

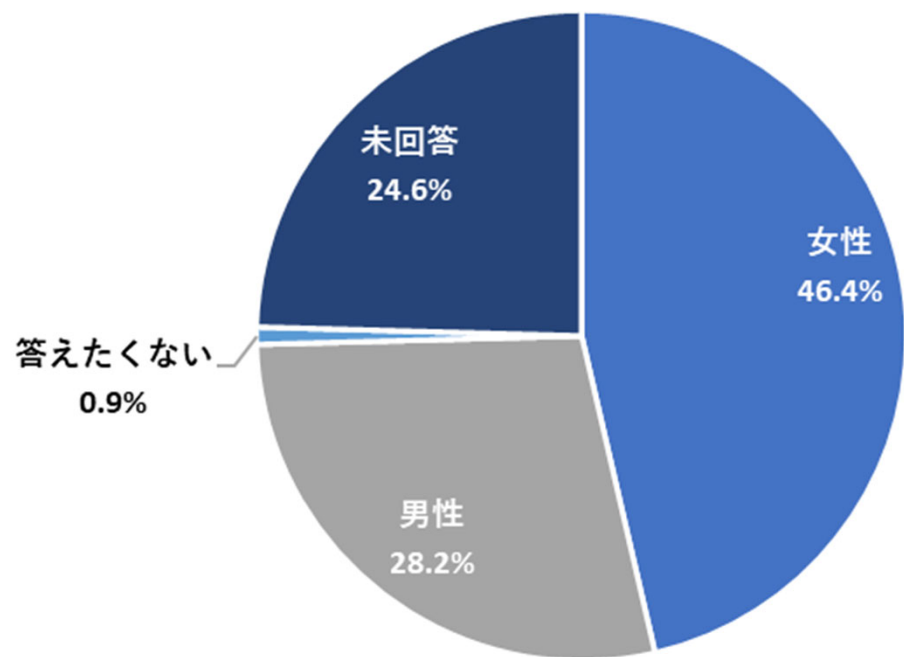
令和4年度携帯ショップがない市町村における事業実績(確定)

- 携帯ショップがない市町村（749市町村（※令和4年6月20日集計））のうち、64市町村において、延べ約2,000コマの講習会等を実施。
- 受講者数は、1万人程度

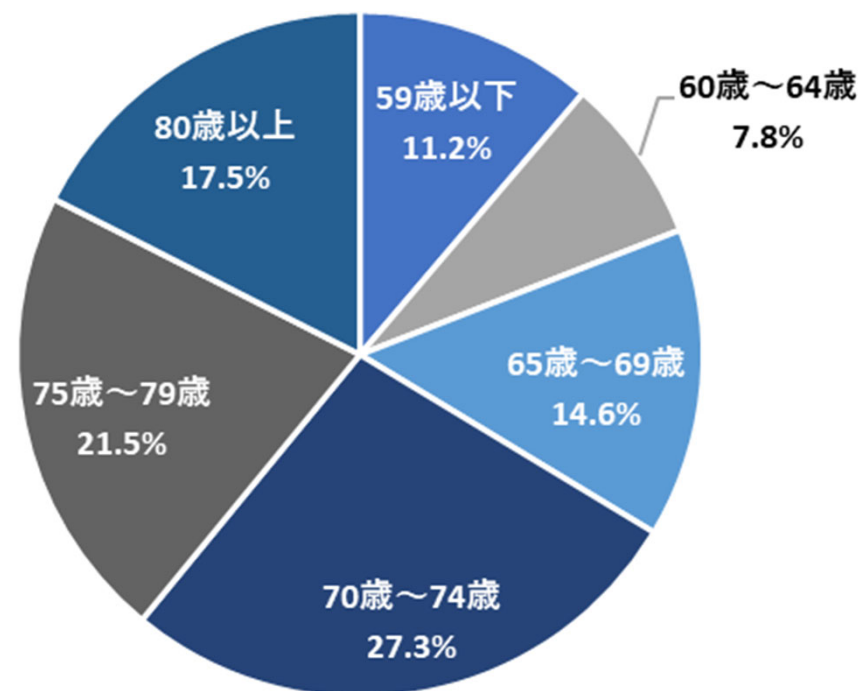
項目	地域連携型	講師派遣	合計
箇所数	<u>62箇所</u> (連携自治体の数)	<u>2箇所</u> (実績のある派遣先数)	<u>64箇所</u>
講習会の実施コマ数	<u>2,002コマ</u>	<u>18コマ</u> (3コマ/回で固定につき、回数では6回)	<u>2,020コマ</u>
受講者数 (延べ人数)	<u>9,632人</u>	<u>104人</u>	<u>9,736人</u> (重複を考慮しない延べ人数)

- 受講者の性別について、(未回答を除くと) 男女比は約3:5。
- 年代は、59歳以下が約11%、60歳以上が約89%。70歳～74歳が約27%で最多。

■性別 (N=45,912)

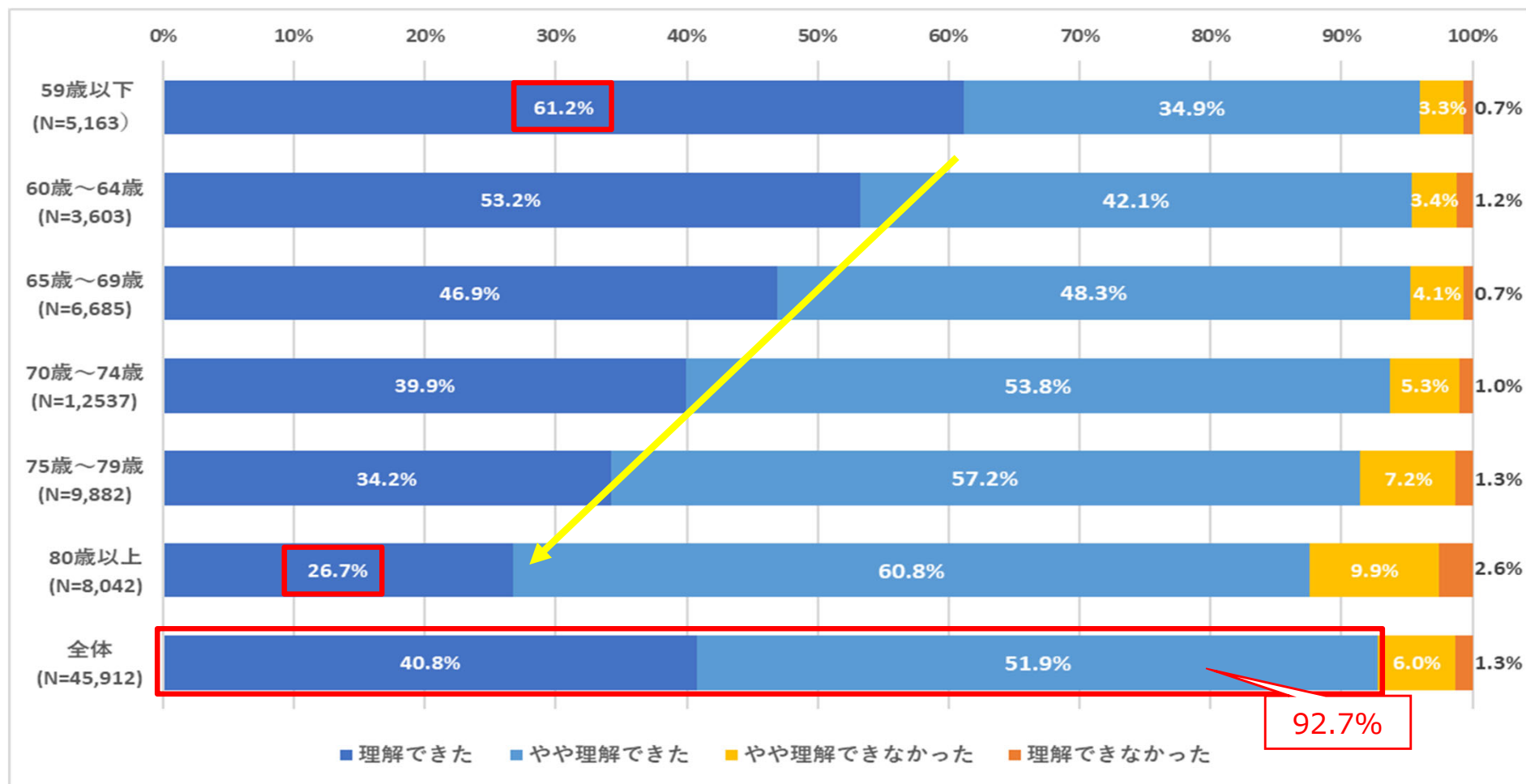


■年代 (N=45,912)



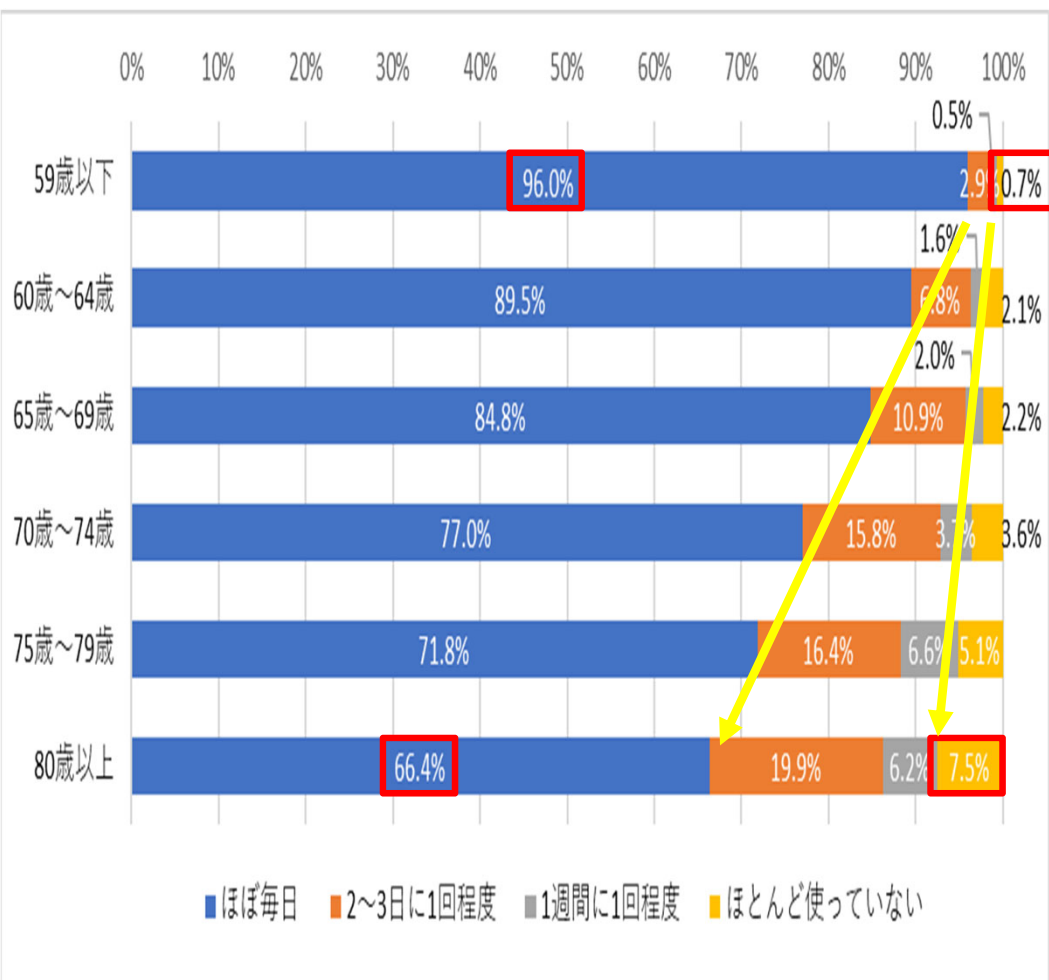
- 講習会の内容理解度について、「理解できた」と「やや理解できた」割合の合計は、年代にかかわらず8割を越えており、さらに全体では9割を越えていることから、令和4年度事業の講習会における理解度は高い。
- ただし、「理解できた」割合について、年代別に見ると、年代が上がるにつれて低下傾向にあり、59歳以下では61.2%に対し、80歳以上では、26.7%と、1/2以下まで低下している。

■ 理解×年齢 (全体N = 45,912)

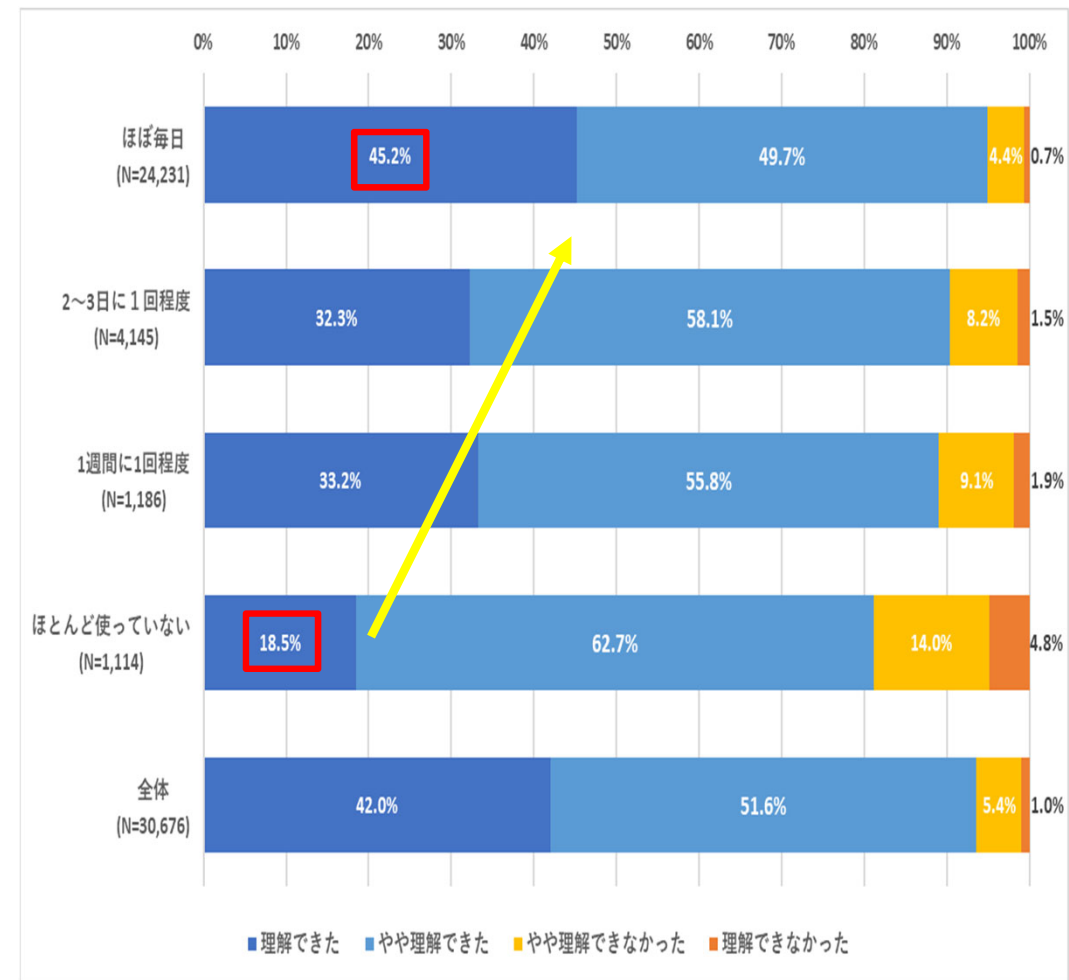


- スマホの利用頻度について、年代が上がるにつれて「ほぼ毎日」の割合が低く、「ほとんど使っていない」割合が高い。「ほぼ毎日」について、59歳以下では96.0%に対し、80歳以上では66.4%となっている。一方、「ほとんど使っていない」について、59歳以下では0.7%に対し、80歳以上では7.5%となっている。
- 講習会の内容理解度について、スマホの利用頻度が高いほど、「理解できた」割合が高い。「ほぼ毎日」が45.2%、「ほとんど使っていない」が18.5%と、スマホの利用頻度で大きな差が発生している。

■ スマホ利用頻度×年代 (全体N = 30,336)

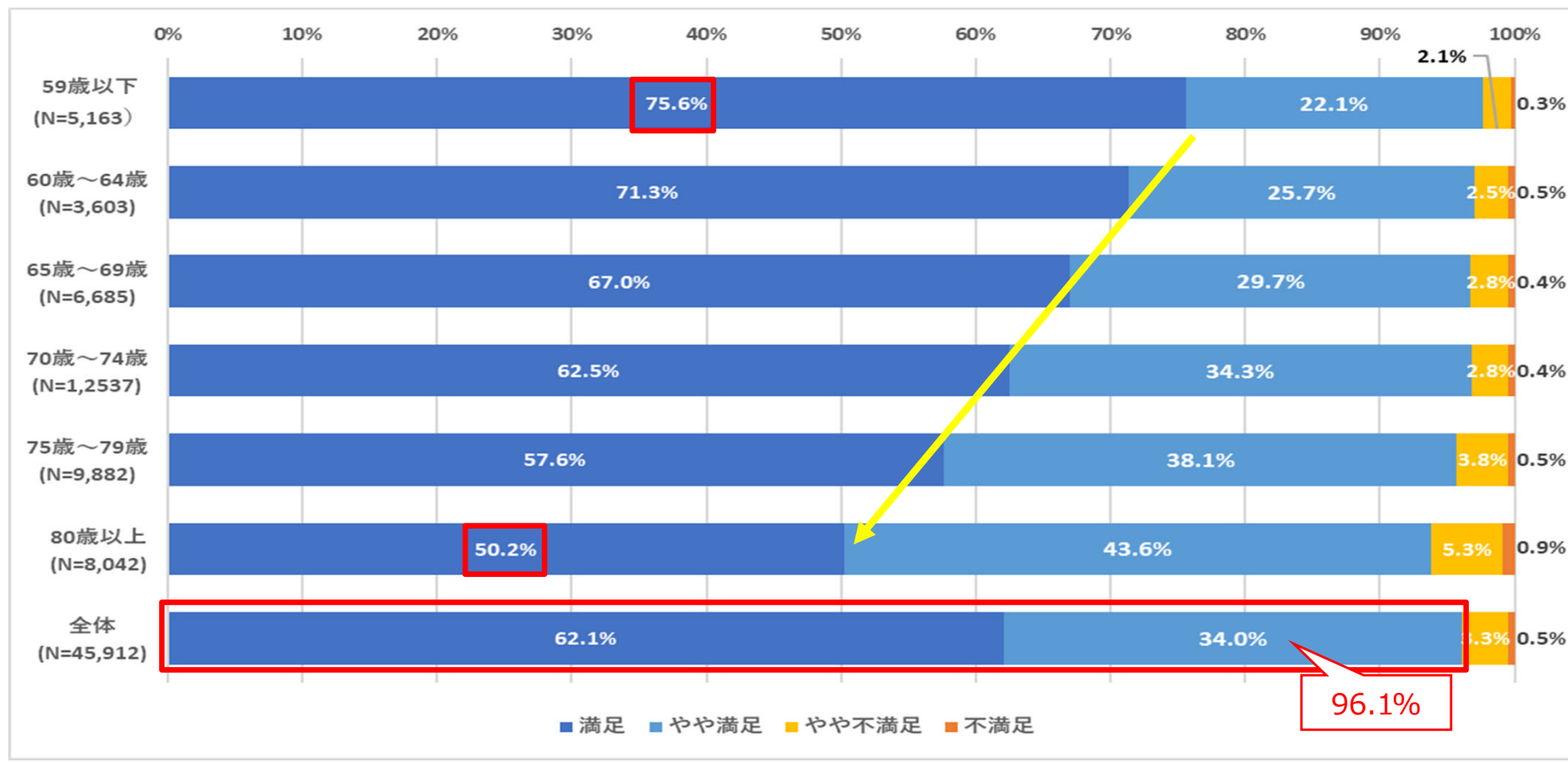


■ 理解×スマホ利用頻度 (全体N = 30,676)



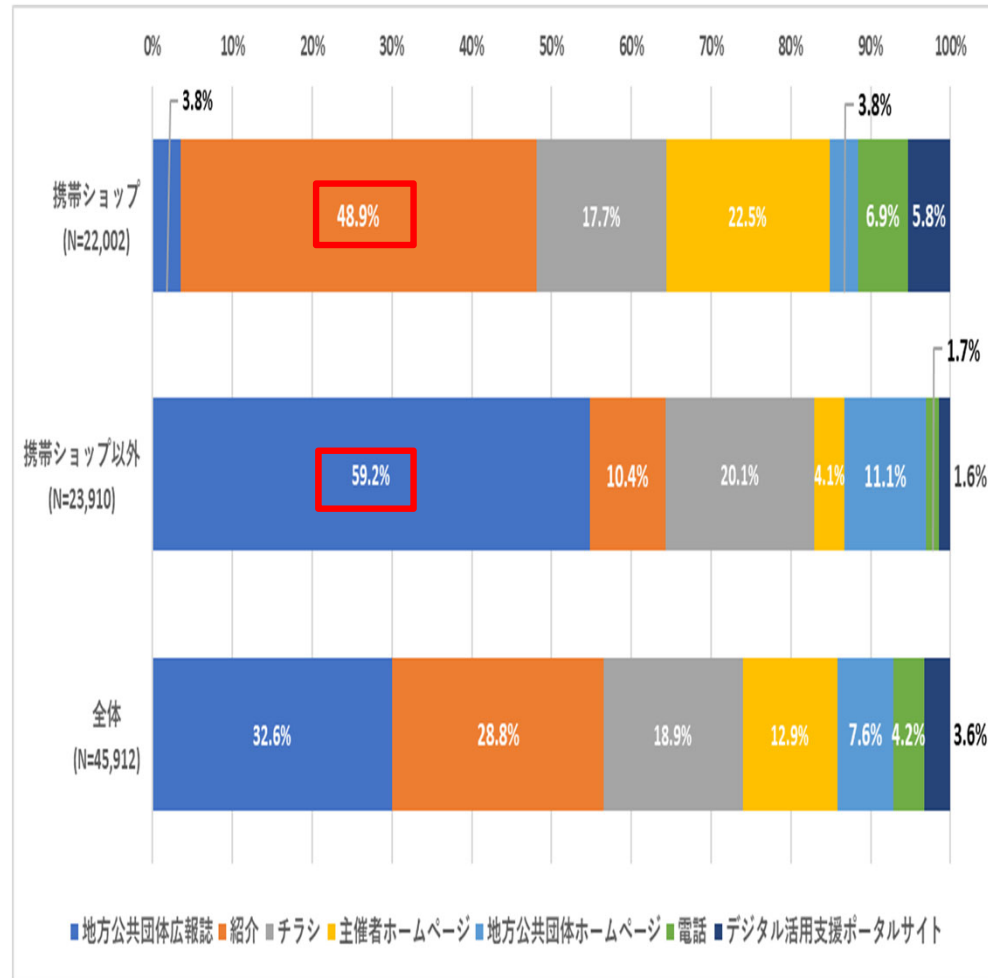
- 講習会の満足度について、「満足」と「やや満足」の割合の合計は、年代にかかわらず9割を越えていることから、令和4年度事業の講習会における満足度は高い。
- ただし、年代別では、年代が高くなるほど「満足」は低下傾向、59歳以下では、「満足」が75.6%、80歳以上では、50.2%と、大きな差が発生している。

■ 満足×年齢 (全体N = 45,912)

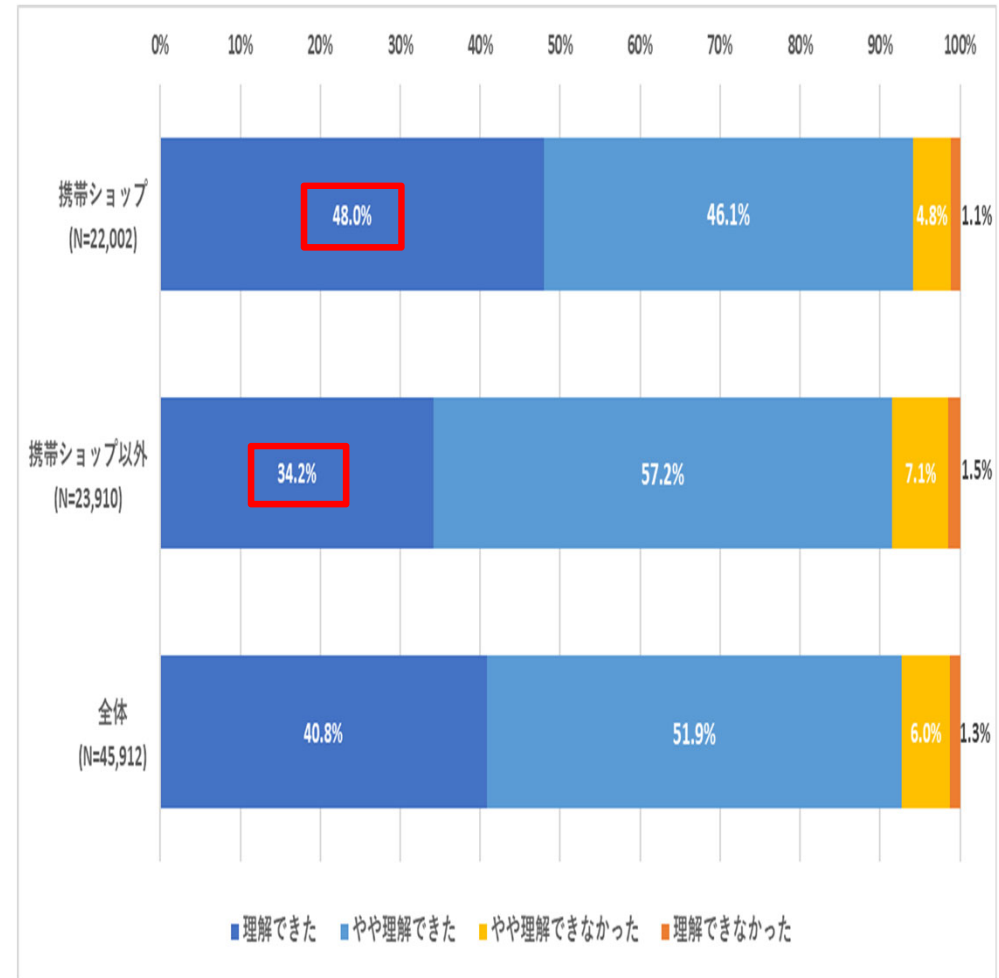


- 講習会の認知媒体について受講場所で比較すると、携帯ショップで受講した場合は「紹介」が48.9%、携帯ショップ以外で受講した場合は「地方公共団体広報誌」が59.2%と、認知媒体に大きな差が見られる。
- 講習会の内容理解度について受講場所で比較すると、携帯ショップで受講した場合は「理解できた」が48.0%、携帯ショップ以外で受講した場合は34.2%と、内容理解度に差が見られる。

■ 講習会認知 (全体N = 45,912) 【複数回答可】

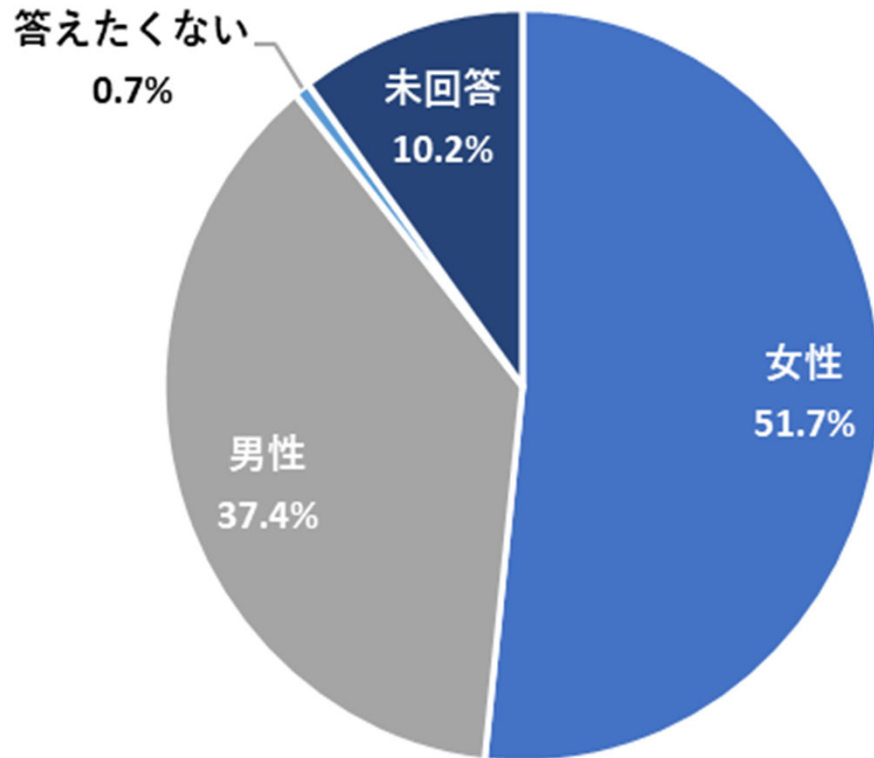


■ 理解×受講場所 (全体N = 45,912)

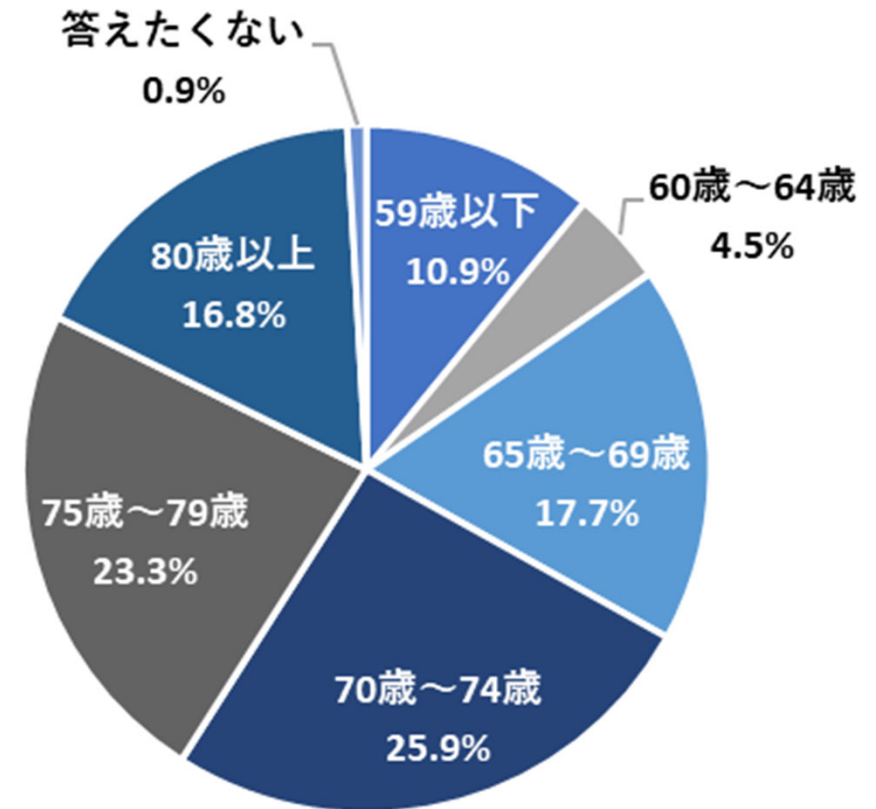


- 受講者の性別について、(未回答を除くと) 男女比は約3:4。
- 年代は、59歳以下が約11%、60歳以上が約89%。70歳～74歳が約26%で最多。

■性別 (N=559)

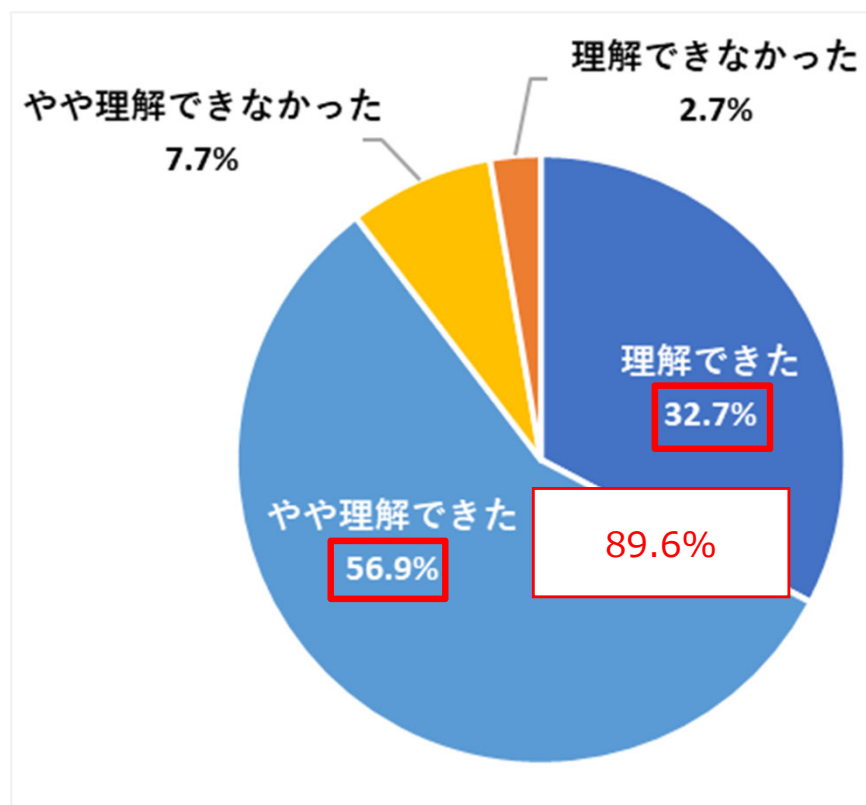


■年代 (N=559)

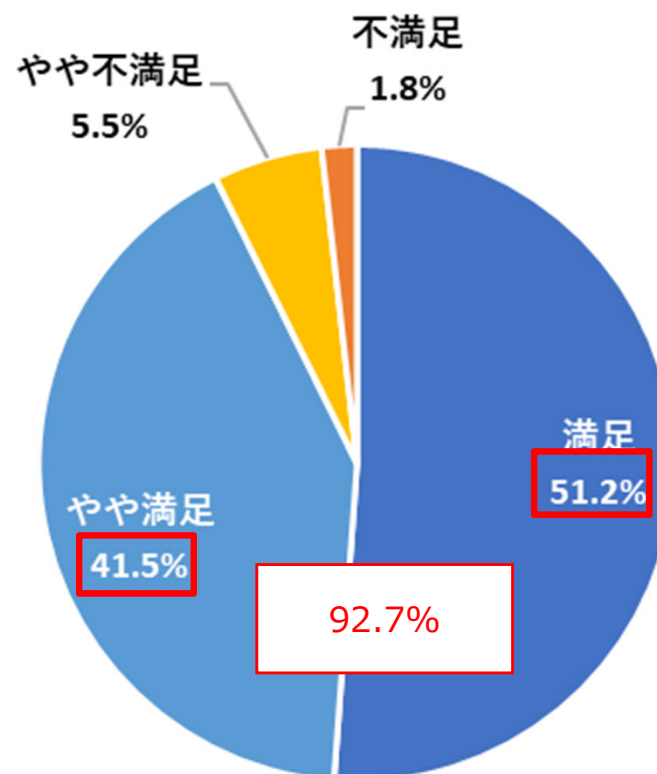


- 講習会の内容理解度について、「理解できた」と「やや理解できた」割合の合計は9割に近いことから、令和4年度事業の講習会における理解度は高い。
- 講習会の満足度について、「満足」と「やや満足」の割合の合計は9割を超えていることから、令和4年度事業の講習会における満足度は高い。

■ 講習会の内容理解 (N = 559)



■ 講習会の満足 (N = 559)



(参考)令和4年度広報の概要

■ デジタル活用支援推進事業の認知度向上のため、令和4年度においては、以下の広報を実施。

- 新聞広告
10月3日～10月9日の間、全国紙や地方紙など73紙に政府広報として広告を掲載。
- ラジオ広告
10月9日、政府広報ラジオ番組にて、広告を放送。
- 総務省広報誌
広報誌「総務省」11月号に、事業概要を紹介する記事を掲載。
- その他自治体向け周知
主に講師派遣型を念頭に、地方自治体関係者が購読する雑誌への記事の掲載、地方自治体職員が参加する会議などで事業の周知を実施。

政府広報 | 総務省

スマホを使って もっと暮らしを便利に!

◎講習会開催中!
◎スマホの使い方から
行政手続き方法まで学びませんか

デジタル活用支援講習会事務局

03-5974-0129

(平日9:00~17:00)

詳しくは ▶ **デジタル活用支援**

新聞広告 (10月6日 毎日新聞)

MIC NEWS 06

スマートフォンの活用方法が無料で学べる! デジタル活用支援の講習会を全国で実施しています

デジタル活用支援講習会

講習会の種類

会場研修	遠隔研修
① オンライン研修(動画配信)	① 電話による研修
② オンライン研修(ライブ配信)	② オンライン研修(ライブ配信)
③ オンライン研修(音声配信)	③ オンライン研修(音声配信)
④ オンライン研修(音声配信)	④ オンライン研修(音声配信)
⑤ オンライン研修(音声配信)	⑤ オンライン研修(音声配信)
⑥ オンライン研修(音声配信)	⑥ オンライン研修(音声配信)
⑦ オンライン研修(音声配信)	⑦ オンライン研修(音声配信)
⑧ オンライン研修(音声配信)	⑧ オンライン研修(音声配信)
⑨ オンライン研修(音声配信)	⑨ オンライン研修(音声配信)
⑩ オンライン研修(音声配信)	⑩ オンライン研修(音声配信)

高齢者におけるデジタルデバイドの現状

図：最近ではスマートフォンやタブレットを頻りに使っていますか?

年齢層	頻りに使っています	あまり使っていません
18-29歳(20.6%)	82.0	18.0
30-39歳(24.6%)	78.0	22.0
40-49歳(26.6%)	75.0	25.0
50-59歳(28.4%)	68.0	32.0
60-69歳(22.4%)	55.0	45.0
70歳以上(12.0%)	35.0	65.0

21 MIC • 2022 November Vol.263

広報誌「総務省」11月号